

# ヨシナカ新聞

4月号

発行所  
株式会社ヨシナカ  
東京営業所

TEL: 03-3555-0796

## 白木蓮の花を検証(生意気に)

先月号ではTBSアナウンサーの安住さんが白木蓮を見て驚いて、この花にとりこになったお話を紹介させて頂きました。

話の内容がとても面白かったのもあって、どんな花が咲くのかとても興味深く、楽しみにしていたのですが、待っている時ほどじらされるのがこの世の常なのでしょうか、例年3月中頃には花開くのが、今年の冬の寒さのせいもあり、2週間も遅れて3月末ようやく花を咲かせてくれました。

実際に見た感じでは、白木蓮の花は安住さんが仰ったような

鳩みたいな、そして500mmリットルのペットボトルくらいの大きさはなかったのですが、測定してみると幅10cm、高さ18cmくらいの大きなものもあり、やはりこの季節で咲く花としてはビッグサイズでした。

白木蓮は、原産地は中国で、春、新葉が出る前に枝先に白い卵形の花を多数咲かせるモクレン科モクレン属の落葉高木です。全開させずに半開状(開ききらない状態)で花を咲かせるので、ティッシュを丸めたような感じに見えるのかもしれませんが。

ちなみに、この花が一斉にりません。このような状態が固溶です。

このように、金属の中に他の成分が完全に溶け込んだ状態を固溶といいます。オーステナイトステンレスでは約1,100度に加熱して一定時間保持し、全体が一様なオーステナイトになった時点で急冷すると、原子が拡散する余裕がない

散ると地面は大変な状態になるそうです。いずれにしてもちょっと人騒がせな白木蓮さんです(笑)



ため、常温でもオーステナイト組織のままです。

この固溶化処理により、冷間加工や溶接などによって生じた内部応力を除去し、溶接によって析出したクロム炭化物(粒界腐食の原因)とシグマ相を固溶消失して、延性の改善と耐食性の向上を得る事が出来ます。

## ステンレス豆知識 固溶化熱処理

固溶とはどういう意味なのでしょう。コップに入った水と角砂糖を思い浮かべて下さい。角砂糖は空気中では個体ですが、水中に入れてかき混ぜると角砂糖は完全に水に溶け込みます。この時、水と砂糖は化合しているわけではあ

## 染みがついてしまったら

服に染みがついてしまった時のショックといったら、その服がお気に入りであればあるほど大きいですね。『ピアノ奮戦記』『フルーツ奮戦記』でおなじみのK社員は、発表会の当日にパスタソースを服に付けてしまって大慌てした経験があるそうです(笑)。

今は染み取りの溶液を市販で買う事が出来ますので、それを使うのが一番なのですが、染みの種類や染み取りがなかった時の対処方法を紹介させて頂きたいと思います。

染みには2種類あり、カレー、パスタソース、ラーメンやドレッシング等の油分を含む『油性』と、コーヒー、オレンジジュース、ワイン、醤油等の油分を含まない『水溶性』の染みがあります。

油性の染みを落とすには、ベンジンを使います。染みがついた生地の裏側にタオルを置き、ベンジンを含ませたタオルでトントンと裏のタオルに染みを移すように叩きます。この時にこすってしまうと汚れが広がってしまうので注意です。次に漂白剤を綿棒に含

ませ、染みにつけます。そして新しい綿棒に水を含ませ、漂白剤をつけた上から水をつけ、タオルで色素が落ちるまで叩きます。

水溶性の染みを落とすには、容器に中性洗剤を大さじ1入れ、水を大さじ4加えて洗剤液を作ります。あとは油性の染みと同じ方法です。

汚れが落ちたら、最後に通常の洗濯です。洗濯機が使えない場合は手洗いして下さい。これでホームクリーニング完成です。

**K社員のフルーツ奮戦記**  
フルート様  
T先生の術中に見事にはまり、高価なフルートを買ってしまっ、おまけに憧れのピアノのT先生にまで怖い目で睨まれて、後悔と不安が入り混ざったショック状態で楽器店を後にしました。

た。どうしてこんな事になってしまったのかと暫く考えていたのですが、結論が出るはずもなく、結局、買ってしまったものは仕方がないからとにかく吹けるように練習頑張ろうという気持ちに切り換える事にしました。

というか、そう考えないと落ち込むだけだったからです。  
フルートケースの蓋を開くと、キマキマと輝くフルートが三つの部品に分かれて行儀良くケース内の型に収まっています。恐る恐るそれらを取り出して合体させると、フルートの出来上がりです。そのスタイルの何と優雅な事。これは素晴らしい楽器に出会ったと、さつき落ち込んだ事も忘れて感動している単純な私。  
とりあえず持ち方も定まらないまま、こんな感じなのかと吹く構えをして『歌口』と言われる吹き込み口に息を吹き込みますが、空気の音しか出ません。歌口の向きを変えても同じで、見事なくらい全く音が出ないのです。  
「あなたの様な素人のお方にすぐ音を出される程私は甘くないのでございますよ。顔を洗って出直していらっしやい」

フルートからそんな事を言われてるような(高貴なだけに言い方にも気品がある)惨めな気持ちになり、とにかくレッスンは何もしないでおこうと、高貴なフルート様をケースにしまい、ため息をついたのでした。